

地域懇談会実施報告書

- ◎自治会名 森・山崎自治会
- ◎開催日 平成20年2月15日（金）
- ◎時間 午後7時～午後8時30分
- ◎開催場所 森公民館
- ◎参加人数 28名
- ◎懇談内容 別添 議事録

- 質問等後日回答を要するもの
・山崎水源の温度変化について

- 対応
なし



事務局参加者 氏名
大町市連合自治会事務局
遠山 勝
平地区連合自治会事務局長
傳刀 孝男
平地区連合自治会事務局
勝山 直人

記録者 勝山 直人

森・山崎地区地域懇談会議事録

1. 開会 【19:00】

2. 自治会長あいさつ

3. 市長あいさつ

- 地域懇談会は市長就任時の公約でもあり、大町市連合自治会にご理解をいただき、各自治会の主催で私が何うという形で開催している。これまで行っていた市政懇談会はあらかじめいただいた質問に答弁するというスタイルであった。よりきめ細かに市民のみなさんから意見・要望・懸案事項などを伺いたいと同時に、市政をより身近に感じ、関心を持って、さらには市政に参加していただきたいと考え、地域懇談会を開催している。今回でちょうど28回目、46番目の自治会での開催となる。市内の全自治会数が99であるので、約半数の自治会で開催されたことになる。
- 昨年4月から大町市第4次総合計画がスタートした。昨年は計画実施に向けた様々な調整に時間がかかっていたが、今年はいよいよ主な事業に着手する時期であると自覚している。「活力のある豊かなまちづくり」「安心・安全なまちづくり」の2つに特に力を入れていく必要があると考えている
- 国営アルプスあづみの公園について、H16に堀金穂高地区がオープンし年間25万人の来客がある。大町松川地区も来年春期の開園にむけて、国土交通省で整備が進められている。今年度は25億円超の予算が投入される予定である。林に囲まれ外からは見えにくいですが、だいぶ整備が進められている。開園前の整備中ではあるが、イベントを行い、多くの市民の皆さんに現状を知ってもらう取り組みをしている。国営公園という新たな観光資源が生まれ、そこに来たお客にいかに市内を周遊してもらうかが重要で、そのルート整備が必要となる。旅行の形態が団体から少人数のグループに変わってきている中で、その変化に対応していくことがポイントとなる。市も先般開催された観光審議会からも、国営アルプスあづみの公園を核とした、地域観光戦略の見直しについて提言をいただいたところである。
- 松本から糸魚川につながる地域高規格道路の整備に向けて準備が進んでいる。県の委託調査が進み、今年度末には県に報告が出され、新年度には全体のルート像が周辺市町村に案として示される予定である。地域高規格道路は観光の起爆剤、また地域住民の利便性の向上のため力を入れていきたいと考えている。
- 市立大町総合病院について、昨年11月と12月に2人の内科医が他の病院に移られた。1月からは入院病床を65から30ほどに絞り、他科の医師の応援を得ながら運営しているところである。当面内科の入院患者がオーバーフローする分については、市内の開業医や安曇総合病院の協力を得ながら対応していく。3月までに何とか欠員となった医師の補充をするべく、私自身も様々な医療機関に援助を求めたり、信州大学にも働きかけを行っているところである。大町病院でも新たな医師確保策を模索しているところだが、1

日も早く市民に信頼していただける体制を整えたい。

- 病院経営を柔軟に主体的に行うことを目的に、地方公営企業法の全部適用を昨年4月に行なった。事業管理者の選任ができないでいたが、先日信大医学部出身の方に就任の内諾を得た。今年4月の正式な就任に向けて準備を進めているところである。これまでは、経営は病院開設者である市長が担い、医療は責任者である院長が担い、それぞれ協力して行ってきたが、今後は事業管理者の下で経営も医療も一緒に行っていくという体制となる。事業管理者が選任されたことですぐに変わるわけではない。市も全面的にバックアップする中で市民の皆さんの信頼を回復する取り組みを続けて行きたい。
- 大町市第4次総合計画について(ダイジェスト版の説明)
基本理念→将来像・経営像→めざすまちのテーマ(6本の柱)

4. 懇談 【19:25】

出席者

1. 市道山崎・稲尾線右斜面(八幡神社・公民館下)について、毎年のように陳情している崩落・地滑り危険箇所であるが、早急に防止策を要望したい。倒木の恐れもある。10数メートルの杉が30本以上あり、伐採すると60万円程度の見積もりもある。伐採と崩落の因果関係も心配だが、杉が倒れると道路を隔てた民家にも危険が及ぶ。
2. 市道の側溝の掃除(泥上げ)は昨年東側の約半分が終わっているが、継続して実施していただきたい。
3. テレビの映りが非常に悪い。山崎特有の地形によるのか、今後地上デジタルに移行しても変わらないというがいかがか。
4. 昨年、水道水の温度が急に上昇したようであるが、山崎水源から二ツ屋水源への変更に伴うものなのかどうか。冷たい水が必要なときもある。

市長

水道水の温度については初めて聞いたが、二ツ屋水源(矢沢水源)は地下水であるため、年間通じての水温の変化は比較的少ないはずと考える。二ツ屋水源から運んでくる距離は長いですが、地下を通ってくるため影響は考えにくい。この件については持ち帰り水道部に検討させ、自治会長さんあてに文書で回答する。

テレビの映りについては、特に木崎湖から北の地域においては、協調アンテナを使っていただいている箇所もある。地上デジタルへの移行作業が進んでおり、小熊山サテライトから電波が出されるようになったことを受け、市では市内全域で地上デジタルの受信状況を調査するところである。市内のCATV業者が設備を充実させる計画もある。様々な選択肢の中で有効なものを選んでいただきたい。

市道の側溝の整備について、バイパス開通に伴い、国道から市道に移管され市道の管理責任は市にある。できるだけ維持修繕のレベルを下げないように努力しているが、場合によっては地区の皆様をお願いしなければいけないこともある。重機を使わなければならないような大規模なものは引き続き市

で責任を持って行っていききたい。

市道脇の杉について、土地所有者が山崎地区ということで、急傾斜地崩落防止や土砂崩れ防止など、制度として利用できるものがあるので、地区としてどのような対策をとるべきかよく検討していただく中で、市も協力していきたい。地権者がまず手を打ち、そこに公共が協力できることはないか検討させていただきたい。

出席者

1. 森地区内の石綿管の敷設替えについて、市内でも最後の区間となったが、地区の最北端まで行っていない。仁科神社・木崎湖のキャンプ場・B&G 艇庫まで延長して敷設替えをお願いしたい。
2. 木崎湖畔道路について、毎年水位・水圧等により陥没箇所ができ、道路状況が悪化している。湖岸整備は半分終了しているが、残りの半分についても早急をお願いしたい。
3. 平公民館から森地区への入口の道路について、道幅がたいへん狭い。現在は車のすれ違いが全くできず、仕方なく個人宅の庭先や畑を使って行っている状況である。非常に迷惑をかけているので、待避所の整備をお願いしたい。
4. 排水路について、地区内に 1 本しかない上に老朽化して今年だけでも 4～5 回陥没している。いつ崩れてもおかしくない状況である。新しい排水路の計画もあるというが、早急に検討していただきたい。

市長

石綿管の敷設替えについて着手が遅くなり申し訳ない。直ちに着手できなかった事情もあったが、今後は計画的に実施していきたい。地区内最北端までの延長については道路が狭いこともあり、将来のメンテナンスを考え、なるべく公道の下を活用したいことから、難しい面もあるが今後も相談していきたい。

湖畔道路の陥没について、道路の安全については最優先に取り組まなければいけない問題であるので、具体的な箇所が分かれば雪解けを待たずに着手できるところから始めたい。

平公民館からの道路について、通学路にもなっていることや、すれ違いに民地を使っていることから対策が必要である。ただし拡幅となると、道路沿いに民家があることから相当な経費もかかる。待避所を作るというアイデアをいただいたが、地区の皆さんと相談していきたい。

排水路について、戦時中に農地の下に造ったと聞いている。老朽化のため、新年度より危険箇所から計画的に改良を進めていきたいと考えている。実施に当たっては担当課から詳しくご相談したい。

出席者

この地区には、戦時中に昭和電工のアルミニウム工場への電力供給のため、農具川へ自然流下する大きな水路がある。15 年ほど前の台風災害の際に水

があふれ水害が起った。歴代自治会長が改善の陳情を行っているが、その都度回答は下流域から整備を行うとして放置されてきた。安心安全のまちづくりを謳うなら、緊急性の高いものから着手すべきではないか。

市長

河川整備は下流から河川断面を広くしていくことが鉄則である。現在は白塩町付近まで整備が進んでいる。三日町交差点までは自然護岸のままであるため、県はこの整備を行うと思う。昨年も陳情していただいた後、県に相談に行ったが、今年も地区からの陳情を受けて、何とか緊急にできる箇所はないか、改めて県に相談していきたい。

出席者

水門にあった古い小屋を撤去していただき感謝申し上げます。アシヤニセアカシヤがフェンスを越えて生えているため、釣りにきた子どもが顔にケガをすることもある。切込みが急なため、年に2回ほどは草刈をしていただけるとありがたい。

市長

昭和電工の予備ゲートと緊急用のポンプを収納する小屋について、老朽化が激しいこともあり、昭和電工の協力を得て整備したところである。アシヤニセアカシヤについて、河川の流に支障をきたすようなものであれば、管理者である建設事務所に要望すれば、ある程度整備していただければと思うので、具体的に場所を教えてください。

出席者

一中に通う孫がいるが、夏は自転車で通学するが冬は送り迎えをしている。スクールバスの利用について、なんとかならないか。

市長

通学に当って、一定の距離以上は公共の交通機関を利用することが認められている。悩ましい問題ではあるが、どこかで線を引かなければならない。ご理解いただきたい。

出席者

市職員の対応について最近非常によくなった。以前は先客のためカウンター前で待っていても、対応するのは一人の職員だけで奥の職員は本を読んでいたこともあった。雨や雪の中、わざわざ市役所へ出向く市民のことを考えてくれるようになった。大町病院でも予約機の前で困っている人にも、その人の目線に下がって対応している職員を見た。

市長

これまで職員には慢心があったのではないかと感じている。市役所はある

意味独占企業である。仮に市役所が2つあったときに、市民は今の市役所を選んでくれるだろうか、ということを考えてほしいと職員に話をしている。行政もサービス業である。市民に選ばれるよう努力していきたい。大町病院は特にその最前線にいる。ホスピタリティ・癒しが何より大事なサービスである。よい点はほめていただけると励みになる。悪い点は率直にご指摘いただきたい。

出席者

この地区は観光業に携わっている人が多い。長野オリンピック以降道路状況が良くなり、夏も冬もこの地区に宿泊するお客が少なくなった。これまではなんとかやってきたが、最近では引いている温泉の経費もかかるため、廃業したいという声もある。今後どうすればよいか、何か良いアイデアがあれば教えていただきたい。

市長

観光は生活必需品ではなく余ったもので行う傾向があり、景気が悪い時期には手控えられるものである。日本中景気が悪い中ではあるが、特色のある観光地は伸びている。スキー人口が減少し、行程も1泊から日帰りになる中で、温泉郷の薬師の湯では朝5時から営業し、日帰りスキー客を取り込む努力をしている。これまでのように団体客をあてにしていると難しいのではないかと。家族旅行や小旅行に形態が変わっているので、それに対応するように思い切って変える必要があるのではないかと。

この地域には木崎湖や温泉などがあるので、うまく組み合わせていけば「癒し」の空間を求めるお客が定着するのではないかと。スキー客ばかりでなく、他のシーズンに来てくれるお客を大事にしていくことも必要ではないかと。

文科省と農水省が来年度より都会の子どもたちに農作業を体験させるプログラムをスタートさせる。大町市はいち早く環境の整っている木崎・美麻・八坂地区での受け入れを表明した。すでにある学校は毎年この地域に農業体験等をメインにして訪れている。こうした活動の受け皿になるべく磨き上げていくこともひとつの方法であろう。

先日観光審議会からの答申をいただいた。参考になることもあるので是非ご覧いただきたい。

出席者

先日外来魚の再放流禁止の実施方針が決まったという報道があった。6月施行予定で、外来魚を観光利用している野尻湖と木崎湖については、12月までに地元漁協が、下流域に外来魚が流出しないように網を設置することができた場合のみ許可するという内容である。木崎湖にはバス釣りをしたいという人のニーズがある。国・県・市は外来魚についてはすべて駆除という方針でしようが、ニーズがある以上何とかこれを残していただく道と一緒に考えていただきたい。

市長

外来魚問題は非常に悩ましい問題である。田中知事時代に県の施策も迷走した経過もある。基本的には自然の生態系を守ろうということが大きな流れとなっている。外来種であっても、すでに観光面からそこに定着しているものであれば、例外的に許可するものもある。県も木崎湖という閉鎖的な水域が守られるのであれば許可するという事なので、時間的な余裕は少ないが、県のハードルを越えられるよう、関係のみなさんで知恵を出し合いながら頑張っていきたい。

出席者

あまり知られていないが木崎湖にはかなり遠方から人が来ている。ロケーションがよく、魚もいいという声をいただく。若い世代を集めていろいろなことを試しているが、ともすれば何のためにここにいるのかという目的意識が希薄になってしまう。この地域が元気になるためには観光業をもう少し盛り上げないといけない。地元が主となってやらなければいけないが、市も少しだけ力を貸してほしい。

浅見議員あいさつ

市長さんと膝を交えて率直な意見交換ができ、来て良かったと思う。地元市会議員もまだまだ力不足である。皆で知恵を出し合いこれからも頑張っていきたい。

市長お礼の言葉

このような地域懇談会で、今市は何をやっているのか、言葉を飾ることなくお伝えしていくこと、また市民の皆さんから厳しいご意見を含めて率直なご意見を伺うこと、こうしたキャッチボールを通じて、皆さんと風通しの良い関係を作っていくことで、地域の課題を少しずつ解決したいと考えている。

5. 閉会 【20：30】